

■フランス：欧州委員会、EDFによるドイツのアグリゲーターE2M買収を承認

欧州委員会は2019年8月13日、フランスの電力大手EDF（フランス電力）によるドイツのアグリゲーターE2M買収を、市場の競争を阻害しないとして承認した。E2Mは、2009年に設立されたスタートアップ企業で、2,000軒の顧客が保有する4,500の再エネ発電設備等（計300万kW）をコントロールし、短期の調整力を提供する事業をドイツで展開している。EDFは、買収決定時の2019年6月のプレス記事で、「欧州レベルでのアグリゲーション事業の市場規模は2億kW（うちドイツでは7,500万kW）と推定され、2030年には倍増が見込まれている。E2Mの買収により、EDFのアグリゲーション事業でのプレゼンスを強化する」としている。